

第三セクターの見直し

岐阜県関市

人口：92,579人

面積：472.84 km²

取組の概要

平成17年2月、5町村を編入合併したが、合併協議の中で、町村が設立した第三セクターを合併後2年間で民営化することとし、平成17年度及び18年度に計6法人を株式売却等により民営化した。

取組の紹介

1 取組の背景

- 関市と武儀郡5町村との合併協議の中で、社会経済情勢の変化、長引く景気低迷による市財政の現状や、将来にわたって市民の負担が増すことがないように、また民間活力の導入による法人の活性化などを鑑み、町村が設立した第三セクターを市町村合併後の2年間で民営化することが確定した。

2 取組の具体的内容

○ 民営化対象法人

(1) 「有限会社スイス村」(旧板取村)

設立：平成3年11月6日

出資割合：75%

主な業務：板取村温泉の施設管理(指定管理者)等

(2) 「株式会社ハートランドかみのほ」(旧上之保村)

設立：平成4年6月10日

出資割合：90%

主な業務：上之保ほほえみの湯の施設管理(指定管理者)等

(3) 株式会社エコピア平成(旧武儀町)

設立：平成4年5月22日

出資割合：50.8%

主な業務：道の駅「平成」において店舗営業(物販)等

- (4) 株式会社こぶし街道（旧武儀町）
設立：平成6年3月25日
出資割合：58%
主な業務：道の駅「平成」において店舗営業（飲食）等
- (5) 株式会社ラステンほらど（旧洞戸村）
設立：平成6年9月28日
出資割合：52.5%
主な業務：道の駅「ラステンほらど」において店舗営業等
- (6) 奥長良川名水株式会社（旧洞戸村）
設立：平成11年1月12日（平成16年9月17日有限会社から株式会社化）
出資割合：設立時16.7%（最大30%）
主な業務：ミネラルウォーター「高賀の森水」の製造・販売

○ 民営化の実施

市所有の株式・出資を売却することにより、民営化を実施した。

- (1) 有限会社スイス村
平成18年2月20日 市保有の出資42口（額面総額2,100千円）を売却
- (2) 株式会社ハートランドかみのほ
平成18年3月9日 市保有の全株式40株（額面総額2,000千円）を売却
- (3) 株式会社エコピア平成
平成18年5月29日 市保有の全株式150株（額面総額7,500千円）を売却
- (4) 株式会社こぶし街道
平成18年5月29日 市保有の全株式20株（額面総額1,000千円）を売却
- (5) 株式会社ラステンほらど
平成18年9月5日 市保有の全株式70株（額面総額3,500千円）を売却
- (6) 奥長良川名水株式会社
平成18年9月22日 市保有の全株式240株（額面総額12,000千円）を売却

○ 民営化後において、補助金の支出等の市の関与は一切ない。

3 取組の効果

- ・ 行政に頼らない自主・自立的な経営を図れる。
- ・ 「自ら考え、決定し、実践する。」事業の拡大を図れる。
- ・ 民間ならではの創意工夫による経営の確立を図れる。

4 取組中の課題・問題点

- ・ 合併協議の結果、第三セクターの民営化が協定項目として決定されたが、その後の各第三セクターとの民営化に向けた具体的協議においては、従来、行政（旧町村）との関わりが緊密であったことから協議調整が難航する場面があった。
→ 市としては、合併協議会の決定を尊重する立場で交渉を進め、民営化が実現した。

5 今後の課題

- ・ 第三セクターから民営化した各社は、元々は地域の活性化のために設立されたものであるという趣旨を踏まえると、側面的な支援は必要である。
→ 第三セクターが扱っている特産品のPR活動を進めるなど、市の地域活性化に資する活動を通して支援につなげる。

6 今後取り組む自治体に向けた助言

- ・ 当市では、市町村合併による協議の中の決定事項に基づき、旧町村の第三セクターの民営化を実施することができた。しかしながら、これまで行政が何らかの形で第三セクターと関わっていたことがなくなることは、第三セクターや地域にとって衝撃を与えるものと推測されるため、協議する過程が非常に重要となってくると考えられる。

(参考) 当該取組内容の関連ホームページ

<http://www.city.seki.gifu.jp/>

担当部署：商業観光課